



土木研究所 とは？

土木に関わる調査、試験、研究及び開発並びに指導及び成果の普及等を行うことにより、社会資本の効率的な整備及び北海道の開発の推進に資することを目的とする国土交通省所管の国立研究開発法人であり、我が国の土木技術に関する研究開発において、中心的な役割を果たしています。

<組織の概要>

① つくば中央研究所

自然災害の防止・軽減、社会資本ストックの管理の高度化、環境問題への対応等土木技術全般の基盤となる技術に関する研究開発や技術指導等を実施しています。

② 寒地土木研究所

積雪寒冷地における河川・道路・港湾・農業・水産に関する研究開発や技術指導等を行っています。

③ 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)

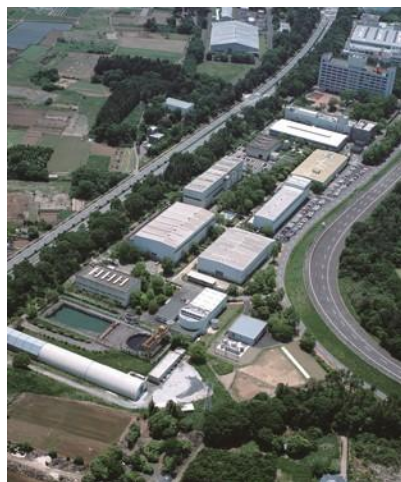
日本政府とユネスコ間の合意に基づき、ユネスコの後援の元、世界の水関連災害の防止・軽減に役立てるための研究・情報ネットワーキング活動等を行っています。

④ 構造物メンテナンス研究センター(CAESAR)

高度経済成長期に大量に建設された構造物が一斉に高齢化を迎える中、構造物の健全性を評価し、維持管理するための研究開発や技術指導等を行っています。

⑤ 先端材料資源研究センター(iMaRRC)

土木構造物の効果的な維持更新や低炭素循環型社会の構築に貢献するため、高度化・多様化が進展する材料資源研究分野の研究開発を組織横断的に行っています。



つくば中央研究所

寒地土木研究所



<研究所の研究活動>

大規模な実験施設を用いた研究を行っています。



三次元大型振動台装置



大型動的遠心力载荷試験装置

国の技術基準類に関わる基礎的な研究開発を行っています。



耐震設計法開発のための
模型実験



防護柵開発のための
衝突実験

災害時には職員が現地に赴き、復旧対策等について行政担当者に指導を行います。



令和2年7月豪雨
佐世保市における土砂災害調査状況
(令和2年7月17日撮影)



令和5年3月 国道40号の雪崩災害
道路管理者への技術的助言状況
(令和5年3月9日撮影)

土木研究所では、社会資本の整備・管理を通じて安全・安心で豊かな社会を構築するための研究に意欲的に取り組んでいただける研究職員を募集しています。

・土木研究所では実大規模の構造物を用いた実験を行っており、国内最大規模の実験施設がございます。
就職説明会等で土木研究所の紹介をさせていただきます。見学、派遣についての詳細はお問い合わせ下さい。

【連絡先】国立研究開発法人 土木研究所 企画部 研究企画課 TEL:029-879-6751 E-mail:kikaku@pwri.go.jp